

# 平成 26 年度 KCOG 冬季 総会 議事録

日時：平成 27 年 1 月 31 日（土）13:00-15:00

場所：ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー8階会議室（大阪市北区梅田 2-2-2）

出席者：伊藤公彦、古川直人、田畑 務、平島泰之、荒川敦史、山本 傑、福井基成、  
その他（参加者リストをサイエンスタッフに請求中のため、後ほど追加いたします）（敬称略）

## 1. 開会の挨拶

伊藤より総会開始が宣言された。

## 2. 呼吸器・婦人科グループの活動状況について

各グループ代表より、平成 26 年の活動状況と平成 27 年の活動計画の報告がなされた。

## 3. 会計報告（サイエンスタッフより）

サイエンスタッフの清塚紀子氏より、現時点での収支状況の中間報告がなされた。

## 4. 平成 27 年度夏季総会日程について

平成 25 年度夏季総会は、7 月 4 日（土）に O-DEC（オーデック）（大阪市中央区博労町 3-5-1 エプソン大阪ビル 17 階）の会議室で行われる予定と案内があった。

## 5. 閉会の挨拶

伊藤より以下の 3 点の確認ならびにお願いがなされ、閉会した。

1) KCOG のミッションは、「本当に患者のためになる質の高い臨床試験を行う。そのことによって患者ならびに社会に貢献する。」である。

2) 製薬企業の皆様には、これまでと同様に、またそれ以上に自由度の高い寄付金をお願いすると共に、今後はよりターゲットを絞ったマーケティングにも寄与する研究も契約の元に行うことも考慮していく。

3) KCOG の研究ならびに発表に関する基本理念は、以下のとおりである。

「多施設共同研究とは、より質の高い研究のために、その目的を理解した多施設で行うものである。研究の立案者（主任研究者）の権利は優先されるべきであるが、症例を登録し多忙な中 CRF を提出した協力施設の労力には十分配慮すべきである。すなわち、研究の成果は主任研究者と協力施設そして KCOG 全体のものである。」

## 6. 特別講演会（共催：中外製薬株）

総会に引き続き山本 傑座長のもと、特別講演会が開催された。

「アバスチンの存在意義について考える」

新潟大学医歯学総合病院 呼吸器・感染症内科 三浦 理先生

平成 27 年 2 月 12 日  
議事録作成者 伊藤公彦